

みよし市食育推進会議次第

日時：平成31年2月5日（火）

午後3時30分～

場所：みよし市役所6階601・602会議室

1 あいさつ

2 報告事項

(1)パブリックコメントの結果について

3 議 題

(1)第3次みよし市食育推進計画(案)について

①第1章 第3次みよし市食育推進計画策定にあたって

②第2章 みよし市の食をめぐる現状と課題

③第3章 みよし市の目指す食育

④第4章 具体的な取組

⑤第5章 食育推進のための仕組みづくり

4 その他



みよし市食育推進会議委員名簿

役職	氏名	摘要
会長	鈴木 淳	副市長
委員	日比野 直子	みよし市教育委員会委員代表
	前田 真美	あいち豊田農業協同組合代表
	小野田 加代子	みよし市農村生活アドバイザー代表
	小嶋 民義	農業生産団体代表（果樹組合）
	根岸 さなえ	食生活健康推進員会代表
	原田 晃男	商工会代表（食品部）
	加藤 大輔	みよし市小中学校PTA連絡協議会代表（南部小学校）
	板倉 広幸	小中学校校長代表（三吉小学校）
	本松 抄千江	保育園代表（明知保育園）
	浅井 博人	みよし市私立幼稚園協会代表（まこと第二幼稚園長）
	山本 さつき	市立保育園父母の会代表（城山保育園）
	渡辺 麻衣子	みよし市私立幼稚園協会母の会代表（まこと第二幼稚園）
	成田 和憲	愛知県立三好高等学校代表（教頭）
	新谷 千晶	NPO代表
	小川 雄二	学識経験者（名古屋短期大学教授）
	西堀 すき江	学識経験者（東海学園大学教授）
竹内 和子	公募委員	
山本 香美	公募委員	

助言者	足立 常男	豊田加茂農林水産事務所 農政課長
助言者	塩之谷 真弓	衣浦東部保健所 健康支援課長
助言者	近藤 貴子	栄養教諭代表（北中・学校給食センター）
助言者	野々山 絃美	保健師代表（保健センター）

※任期：～H32.3.31

第3次みよし市食育推進計画パブリックコメントの実施結果

ご意見の趣旨	市の考え方	結果
<p>【基本目標1】について 食物を作る人、食事を作る人、食事をいただく人それぞれを体験する中で、地域の作物や郷土料理を理解し、その土地で生産される食物を食することが、心身の健康にもっともよいという理解を深める。</p>	<p>食や農業の体験・学習、生産者との交流、料理教室、郷土料理の伝承、健康づくりに関する取り組みを推進し、普及啓発を図ってまいります。また、第4章「具体的な取組」基本目標3ポイント3-(2)地産地消の推進において、健康についての記述を追加し、理解を深めるよう努めます。</p>	<p>P67 ポイント3-(2) 現状と課題に「地産地消は、新鮮な農畜産物を食することで健康な体づくり」を追加。</p>
<p>【基本目標2】について ①食品添加物について、なぜ必要なのか、なぜ少ないほうがいいのか、またペットボトルのお茶にさえ入っていることへの理解。 ②世界中のあらゆる料理を食することができる、日本の現在の食生活の現状は。また和食の素晴らしさをアピールする。無形文化遺産になった背景を説明したらどうか。</p>	<p>①第3章「みよし市の目指す食育」市民の行動指針(3)及び、第4章「具体的な取組」基本目標2ポイント2-(3)食の安全についての関心や知識の向上において、食品添加物についての記述を追加し、理解を深めるよう努めます。 ②社会環境の変化やライフスタイルの多様化により、日本の食生活は大きく変わってきています。市民へのアンケート調査結果からも、食生活の実態や課題が抽出され、改善に向けた取り組みを明記しております。また、和食の特徴や無形文化遺産に登録されたことについて、第4章「具体的な取組」基本目標1ポイント1-(4)にコラムを設けて紹介します。</p>	<p>①P35、41 市民の行動指針行動指針の③に「食品添加物などの表示に関心を持つ。」を追加。 P63 ポイント2-(3)方向性に「食品添加物」を追加。 ②P53 具体的な取組和食のコラムを追加。</p>
<p>【基本目標3】について ①食べ残しを少なくする。食料自給率の向上につながる。 ②宴会などで最初の15分は席を立たずに、自前の食事をとる。</p>	<p>①食品ロス削減の啓発や地産地消の推進をすることで、食料自給率の向上にもつなげていきたいと考えています。 ②食品ロス対策として、愛知県では「3010運動」という、乾杯後30分とお開き10分前は自席で料理を楽しむことを推進しています。第4章「具体的な取組」基本目標3ポイント3-(1)においてこの運動についてのコラムを設けます。</p>	<p>②P66 具体的な取組3010(さんまいるいまる)運動のコラムを追加。</p>

